

小学校低学年でも楽しめるコース

大間々自然歩道コース（学校平駐車場→小間々→大間々片道約一時間）
トウゴクミツバツツジ（小間々の女王と呼ばれる美しいツツジがみられます）、ヤマツツジ、レンゲツツジの大群落（大間々）など
外周歩道コース（大間々周遊歩道、レンゲツツジの大群落、ヤマツツジなど、一周約一時間、半周約三十分）
青空コース（大間々駐車場からミツモチ山、片道約一時間）
モチ山、歩きやすいなだらかな道、片道約一時間
やしおコース（大間々駐車場からミツモチ山、片道約一時間）、多少上り下りはあるが、アカヤシオ、シロヤシオの群生地があるので咲く時期は、特におすすめ



小間々の女王



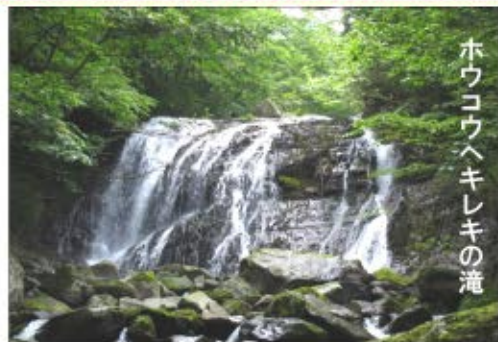
高原山麓は自然豊かなところ。六月のこの時期は大間々のレンゲツツジが特に有名ですが、他にも四季を通じて家族で楽しめる多くの場所があります。今号ではかわら版記者おすすめのコースをご紹介します。花や鳥の図鑑を持って家族で出かけてはいかがでしょうか。

宮川溪谷遊歩道（県民の森管理事務所駐車場→全国育樹祭跡地 片道2・7キロ 約一時間三十分、全国育樹祭跡地にトイレあり）
宮川沿いの遊歩道は、よく整備されていて歩きやすい。春は若葉、スミレ、カタクリ、可憐な白いキクザキイチゲ。初夏は各種のツツジ、鳴き声の良い鳥の代表で姿もきれいな瑠璃色のオオルリ、キビタキ、クロツグミの鳴き声に癒される。夏は、宮川のひんやりとした冷たい風の中を、途中コアジサイの群落、レンゲショウマやギンリョウソウと出会う。秋は紅葉の中を。晩秋、初冬は、落葉し明るさを増した遊歩道と、四季を通して楽しめる「ミニ奥入瀬溪谷」と言ってもいい。



ミニ奥入瀬

小学校高学年から一般向き



ホウコウヘキレキの滝

学校平駐車場から雷霆の滝（片道約一時間）
咆哮轟轟の滝（片道約一時間三十分）

林間、見晴コース（大間々駐車場から八海山神社へ）
スあり、真夏以外は眺めの良い見晴コースがおすすめ、真夏は木陰が続く林間コースを、約一時間十分



全国育樹祭跡地からミツモチ山（林道尚仁沢線を西に約二十分で登山口あり、南西斜面コースや急な登りはあるが、途中にブナの大木やアカヤシオの群生地あり 片道約二時間）



健脚向き
大間々駐車場から八海山神社経由剣ヶ峰、大入道、小間々駐車場、大間々駐車場一周コース（約四時間）
剣ヶ峰から大入道に行く途中、シロヤシオの群生したトンネルを歩くことができる。立派な古木も多くシロヤシオの咲く時期は、特におすすめ



学校平駐車場からおしらじの滝（片道約三十五分）
塩原方面への道路を歩き、最初の駐車場（使用禁止）から右に降りる。滝付近は急斜面なので、注意が必要、滝壺が青く澄んでいて絶景

高原の達人

高原山を知り尽くしていると言われている矢板岳友会の小林充さん。「磨り減った山靴」というタイトルのブログで高原山の情報を発信し続けています。

四季折々に咲く山野草などの情報が詳しく掲載されています。これから見頃を迎えるレンゲツツジなどは、年によって見頃の時期が微妙に変わりますが、このブログで情報を得て出かけるのもひとつの方法。

ただ、心ない人たちが珍しい山野草や花木などを持ち帰ってしまうことも多いからか、「あまり知られていないおすすめの場所はありますか？」という質問には、「それは教えられない」と一言。高原山をこよなく愛する小林さんの思いを感じ、ハッとしました。



（ミツモチ山の展望台への道にアカヤシオが見られなくなったのは、全て盗掘されたからだという話を思い出しました）